

備えは進んでいますか？

— 今、私たちにできること —

阪神・淡路大震災

1995年1月17日に淡路島北部を震源に発生したマグニチュード7.3の大地震で、64万棟の家屋が被害に遭い、6千人を超える方が犠牲になりました。前回の南海トラフ地震から約80年、次の巨大地震が切迫していると言われています。私たちは、過去の震災から多くのことを学びました。いつか来るその日の前に、今できる防災対策をしましょう。

対象経費

固定器具の購入・設置に係る費用

対象世帯

市内在住で世帯の全員が65歳以上

補助金額

最大 **7500** 円

※補助対象経費の4分の3

申請期限・申請方法

3/31(月)

- ※申請は1世帯1回のみ
- ※申請額が予算に達し次第、終了します

申請書に下記の書類を添えて提出

- ・品名や金額が分かる領収書など (写し可)
- ・家具固定器具設置後の写真 (設置箇所ごとに)

※申請書は、防災まちづくり推進課にあるほか、市ホームページからもダウンロードできます

提出・問い合わせ先

防災まちづくり推進課 28-6934

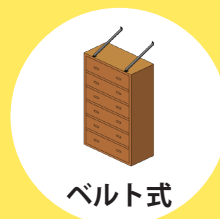
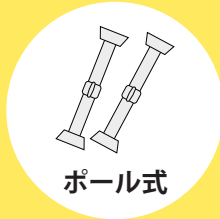
詳しくはこちら▶



家具固定費用を補助します

今すぐ転倒対策

命を守る家具の転倒防止対策をぜひこの機会に！



災害時には、「自助」、「互助」、「共助」が重要です。特に、自分の身を守る自助は災害対策の基本と言われており、周りの人を援助する互助や共助のためにも、まずは自身の安全を確保することが大事です。自助の中で、手軽にできて最も有効なのが「家具の転倒防止」です。大規模地震で負傷された方の3と5割は、家具の転倒が原因と言われています。また、倒れた家具で通路が塞がれたために逃げ遅れたり、引火して火災が発生したりすることもあります。家具の転倒防止は「自身の安全確保」、「避難路の確保」、「火災予防」などに大変有効です。自助により自分や家族の安全が確保できたら、周りの人を助けてあげてください。自助に互助や共助が加われば、多くの命が助かります。そのためにも、日頃から地域のイベントなどに参加し、自分の周りにもどんな人が住んでいるか知ることが大切です。いつか来る「その日」の前に、みんなで備えましょう。



防災士さん
教えて！

北新町自主防災組織会長
遠藤 禎誌 さん (上分町)
2012年から自主防災組織の会長として活動中。
2013年に防災士の資格取得。